

ジューケーキは、住宅用火災警報器普及のため本郷消防署が企画し、松本第一高校食生活研究同好会（食研会）が開発したスイーツ。住宅用火災警報器の略称「住警器」ジュウケイキ」とその形から着想を得て、白くて丸いチーズケーキに火をイメージした赤いジャムをトッピングし、サイダージュレを流し入れたレアチーズケーキです。さわやかな酸味とジュレの清涼感が夏にぴったりです。防災機器とスイーツという異色のコラボについて取材しました。

（三才山 M、浅間第7 K）

高校生開発の消防スイーツ

ジューケーキ



令和7年7月1日現在

人口	14,315人
男性	6,963人
女性	7,352人
世帯数	7,028戸

インタビュー

ジューケーキを企画

本郷消防署長補佐 南山哲夫さん



【住警器の大切さを発信】

皆さんのお宅には、住警器が設置されていますか？住警器は、すべての家庭に設置が義務付けられており、設置後10年を目安に更新が必要です。本郷消防署ではその普及更新の重要性を広めるため、第一高校食料科の生徒とコラボし、住警器をモチーフにしたスイーツ開発を企画しました。きつ

ジューケーキづくり！

6月14日（土）、本郷公民館にレシピの開発者である食研会の5名の生徒と顧問の鹿内先生をお招きし、他関係者5名が参加しての見学・体験を行いました。

消防署から開発者に依頼されたスイーツは、住警器をイメージできて小学生にも作れるというもの。アレルギーにも配慮し、卵は使わないという制約の中で考案されたのがレアチーズケーキ。レシピも

難しすぎないようにと、タルト生地からビスケットを砕いたクッキー生地に変更するなど、試行錯誤が詰まっていた。開発する際に難しかった点を尋ねてみると「ジュレにサイダーのシユワシユワ感を残すこと」とのこと。ジュレが鍋の中で固まってしまった、なんてこともあったとか…。かわいくできたジューケーキ。最後はおいしく試食しました。食研会の皆さん、ありがとうございました。

かけは「地域密着の啓発活動を」との思いから本郷地区の学校とのコラボを思い立ち、第一高校へ打診しました。ジューケーキはポスターやカード、動画配信などで広報に活用され、関心の高まりを感じています。今後は11月の火災予防週間に、行っ本郷小学校での総合的な学習の時間を通して、小学生から家庭へ火災予防の大切さを伝える予定です。

住警器の普及率は7～8割。地域の皆さんには、設置・更新と共に、火の取り扱いにも一層の注意をしてほしいです。また、ジューケーキ作りを通して防災に関心を持ってもらえれば幸いです。



「多くの人に見てもらい、動画がバズってほしい」と話す食研会広報担当の堤さん

ジューケーキにチャレンジ！ジューケーキのレシピと紹介動画は、松本広域消防局のホームページで公開中！



授業と自主的研究会で調理の腕を磨く見事な手際



水汲町会ふれあい会食会開催

6月8日(日) 70歳以上の方22名をご招待し、ふれあい会食会が開催されました。初めに5月に日赤の補助金で導入されたAEDのお披露目があり、公民館の大切さを再確認していただきました。

次に北部地域包括支援センターの方を講師に招いた「認知症についてのお話」では、皆さん興味深く耳を傾け、症状の早期発見・人と関わることの大切さを学びました。

食事、歓談を楽しみながらビンゴゲームにカラオケ大会、昔話にも花が咲き、大変楽しい1日となりました。締めは万歳三唱！皆様の益々のご健康を祈念しました。

今年は本郷での敬老長寿会がないため、9月に町会での開催を計画しています。参加者に楽しんでいただくとともに、人との交流を大切にしていきます。

(水汲 W)



講演を真剣に聴く参加者

レンゲツツジ群生地整備

美ヶ原高原の袴越山(1753m)にあるレンゲツツジ群生地。6月6日(金)、本郷財産区議員らが草刈り作業を実施しました。群生地は財産区の区有林にあり、財産区が毎年整備をしています。

議員13人、ボランティア11人の計24人が参加。群生地を通る林道美ヶ原線の両側に分かれ、草刈り機を使って周辺に繁茂した雑草を懸命に刈り取りました。熱中症予防のため、時々水分を取りながら、作業に汗を流しました。



毎年行われている整備作業

この日は一部で赤いレンゲツツジの花が咲いていました。財産区議長の滝沢廣重さん(74)は「きれいな状態で観光客に見てほしい」と話していました。

(浅間温泉 4 T)

横田神社の例大祭に参加して

例大祭は5月1日(木)から3日(土)にかけて開催されました。1日は朝6時から横田神社の敷地内の草取りや社の清掃。私は15分前に行ったところ、すでに多くの人が黙々と作業していました。私の割当作業は社の清掃。社の床には細かいほこりがあり、ほうきで履いた後、モップで拭きました。神社に保管されている旗柱は、木柱でだいぶ年季が入っています。

全員で行う作業が終了すると、各町会に祭り準備で張る



住民による草取り

お茶のみサロン

浅間温泉第二町会

開催日 毎週 第二木曜日

浅間温泉第二町会のお茶のみサロンは、「ボランティアゆいの会」の運営により、毎月第二木曜日に開催されています。その第一回は2017年5月。その後、開催場所の変更や新型コロナウイルスなどで中断した期間はあったものの、現在まで足かけ8年、回数にして78回にわたり開催されています。

「住民同士の親睦をはかり、家から外に出ることで認知症予防に繋がれば」との思いで始めました」と代表の矢島眞知子さんは設立趣旨を語ります。

お茶のみサロンでの催し物は、ゆいの会メンバーで話し合っ

ており、今年度もeスポーツやギターの野外コンサートが行われています。今回、6月のお茶のみサロンに参加し、浅間温泉交番の大日方所長の「特殊詐欺について」の講話を聴講しました。特に「電話でお金詐欺」について扱われ、

固定電話・スマートフォンでのビデオ通話などでの注意点などを、実体験に基づいたリアルな事例を交えながら、具体的にわかりやすくお話されていました。質問タイムでは、



サロンの様子

所長自ら高齢参加者のもとへ出向いて話すなど打ち解けた雰囲気となりました。今回最高齢参加者の山本儀一さん(99)は「足が弱くなっ

て一人ではここまで来られないが、送り迎えをしてもらえる。ここに来てみんなの顔が見られるのは嬉しいし、ありがたい」と話されていました。

(浅間温泉 2 N)



出陣式

2日の宵祭りでは、境内で焼き鳥やポップコーン、飲料等の提供があったほか、二胡の演奏もありました。3日には子供神輿・大人神輿の出陣式が行われ、それぞれの町会へ元気に出発して行きました。

例大祭は、地域の協力で開催されている。これからも永く受け継がれて行くだろうと思います。

(横田第3 M)